園部共同作業所だより

園部共同作業所発行
〒６２２－００１１
京都府南丹市園部町上木崎町
入道３２
電話０７７１－６２－３２４９
ＦＡＸ０７７１－６３－２９４１

ＮＯ １０２

石田正夫さん、お疲れ様でした

私が園部共同作業所に勤め始めて早くも十一年が経ちましたが、入社した日から利用者さんに「おっちゃん」と親しく呼ばれている方がいるなと思い職員に聞くと、隣の家に住んでいる石田正夫さんと言う方で、ボランティアの様な感じで来てくださっている方だと知りました。

石田さんは、毎日利用者さんと一緒に九時から四時まで作業されたり、作業所が休みの日などは園部共同作業所の駐車場の草引きまでしていただいていました。

そんな石田さんも園部共同作業所に来られて早十七年がたち、今年で七八歳になられましたが、今年の冬の大雪の日に道で足を滑らせてしまい手首を骨折されてしまわれ長い闘病生活の末に手首の方は一応直ったのですが、本人も年だという事で区切りとして園部共同作業所を辞めようと思うと言われました。

石田さんが作業所に居られると、不思議と利用者のみなさんも精神的に落ち着かれる事もあり、みんなを和ませてくださる方だったので残念な事です。

その後、送別会を開きみんなも涙ながらにお別れをしましたが、園部共同作業所の隣に住まわれていることは変わりがないのでまた作業所に顔を出してもらいたいです。

石田正夫さん、十七年という長い間本当にお疲れ様でした。

杉山　泰佑

ソフトボール交流試合

五月二七日、土曜日は、ソフトボール交流試合です。

二週間前から練習をしていました。初めての練習の時は、草刈りをしている人がいたので、いつもの練習通りには、できませんでした。

次の日に園部スポーツセンターに、練習に行ったら、きれいに草刈りがしてありました。

練習の時のバッティングピッチャーの、杉山所長さんが一人一人に投げてくれました。僕はそんな姿を見ていると執念を感じとりました。これからも、杉山所長には、体を大切にしていただいて、今年の一〇月のソフトボールには、元気な姿をしているヒッチャーの姿が見たいです。

試合には、負けたけれど試合のおわった後、相手チームの人が次の日の試合の人を捜しておられたので、行ってもみようと思いました。

次の朝、保津のグランドに到着しました。だれもいませんでした。車の中で待つと一人の女性が座っていました。声をかけると、これから集まるからね言われ、また車の中に入り、ちょっと待っている間に、線を書いている人がいました。用意が終わると、キャッチボールもしました。その相手は、小学生二、三年生ぐらいの少年でした。真面目な少年で守備は、セカンドで、自分は、センターでした。試合に、勝、負は関係なく、好きなソフトボールできる、よろこびを感じる事ができました。九月のソフトボールにも参加する事は、隠すつもりだったのですが、家の中にいるよりか、外に出て、好きな野球ができるのは、幸せです。これからも野球をとうして、仕事も、両方頑張ります。

谷口　佳隆

スポーツレクレーションに行って

毎年あるスポレクへ、今回も行かせてもらいました。私の出る種目は、グイノミでした。同じ列に、矢野さんといっしょでした。私は足がおそいので、グイノミの所で、がんばって、早く飲み、それで、昨年は一等だったので、今年もと思い、そのとおりにヤクルトを、一気飲みで、一等だったのですが、走るところで、矢野さんにまけてしまい、二等でした。天気も良くて、よかったです。お弁当もおいしかったです。後でるのは、玉入れ、まけてしまい、いつものことで、玉入れをすんだら、すぐ帰る用意をして、みんなで帰ってきました。女は私と、石黒さんの二人だったけど、とても楽しかったです。来年も行こうと思っています。天気も良く、よい一日で良かったです。来年もはれますように。二等だったけれど、楽しかったです。それではまた来年です。

河辺　里美

そうめん販売の御礼

今年もそうめんの販売が皆様のご協力で、通所の皆さんのボーナス資金として確保出来ました。

ほんとうにありがとうございました。

八月三日に無事支給することが出来ました。重ねてお礼申し上げます。

行事・レクレーション

四月一〇日　お花見（背割り桜）
五月一六日　日吉八栄お茶摘み
五月二一日　スポーツフェスティバル（丹波自然公園）
五月二七日　ソフトボール交流試合
七月二〇日　石田正夫さん送別会
八月四日　海水浴（由良海岸）

寄贈品

五月一七日　小島　美由紀様
ジャガイモ
石田　正夫様
ポカリスエット一箱

ありがとうございました。

智積院見学と八幡市背割堤花見

最初にことわっておくがあまりよくおぼえていない。

時、四月一〇日（月よう）

メンバーさん全員と指導員、先生と世話人さんとあわせて二名が園部大橋を出発、まず、縦貫道にのって、八木東、千代川、大井、篠、くつかけ、そこで立体交差で、長岡京、天王山方面に行かず、京都市方面に降りた。約一時間あまりで、智積院の総本山が目に見えて信者さんが目に入ってきた。それから横の本堂へ入った。まがり、まがりロータリーを渡って行くと、えんがわから、池が見えて、鯉が泳いでいた。

そこで、智積院へなんのために行ったかと言うと、石田哲さんが絵をしのんで、生前、彼が書く絵を見に行った。すると同じようにほかの人の絵も飾ってあった。

話はよけいかもしれないが、この近辺で、河辺里美さんが住んでいたと、バスの中できた。それから、宇治、淀、京阪八幡駅を右に折れた所から、桜タワー駐車場にマイクロバスを止めて、降りたら、弁当の時間、みんな、どてに並んで弁当を食べた。ちなみに淡路屋さんの弁当。それを食べるかいなかで、桜吹雪が風邪に散って、とてもきれいだった。

弁当を食べ終わると、自由行動で、泰佑さんと、高屋さんと、前原さんと僕の四人で約一、四キロの桜並木を、最後まで歩いて、見ようということになって歩いた。途中ところどころで、泰佑さんに写真を撮ってもらった。

昔、桜が植えてなくて、「山城の橋立」といっていて、松並木だったそうで、それは虫が松を食べるからと言うことで、桜を植えたら、桜が咲いて、八幡の背割桜として有名になった。帰りは、阪急天王山駅前を通って、縦貫道を通って、来た道を、南丹市方面へ向かって八木西インターで降りて、横谷くん、あべまつさん、内藤さんが園部駅前で降りられた。最後に、桜並木がきれいのと、哲さんをしのんだのがよかった。又、行って見たい所の一つになった。これも、先生方、指導員さんのおかげで楽しい花見旅行ができてよかったです。ありがとうございました。

平田　郁雄

海水浴へ

八月四日、今日は海水浴の日です。九時から九時四〇分まで作業員出発集合、一〇時に大橋を出発して、内藤さん以外は全員参加でした。運転手は松尾さんでした。海に着いてまずカレーライスを食べました。少し辛かったのです。その後、水着に替えて、海に入りました。年年は陸組が多かったのですが、今年も泳ぎました。去年も泳いだ。その後、スイカを割りました。今年はスイカを割りました。

食べ終わると、私は割れませんでした。スイカを食べました。帰りに食べました。お天気もよく、楽しい海水浴でした。

又来年も行こうと思います。ありがとうございました。

高屋　晃

りょこう

はじめてりょこうにいきました。一日目は、昼食をたべました。ラーメンをたべました。そのあとにイルカのところにいきました。

はじめて見てすごかった。こんなにイルカのはや、あしとかがこのかんじだなと思いました。そのあとは、イルカのしょうを見にいきました。きれいにリズムにあわしてすごくてきれいにしていました。イルカのしょうを見ました。とんでるところがよかった。

りょかんについてから、かくへやにはいってからきゅうけいして、おふろにはいりました。おふろにはいってきもちよかった。そのあとえんかいをしました。ごはんもおいしかったしおさしみもでました。そのあとみんなでうたをうたったりしてたのしかった。おわったらみんなでしゃしんをとりました。へやにはいってみんなとしゃべったりしました。なちのたきを見にいきました。かいだんのところがこわかった。つえをつきながらあるいたけれどあとからつかれてとちゅうできゅうけいしました。六人くらいきゅうけいをして、あとの人たちは、いちばんうえまであるいていったようです。かいだんがこわくて、のぼりができなかった。とちゅうでしんどくてつかれました。二かいいったけれど、はじめに、たきのところで、しゃしんをとってあとはきれいな水をみました。

はしのところにいきました。水や、いしをみてすごいなとおもいました。水がつめたかった。よかった。かえりしなに、バスにのってかえるまで、ねていました。ＤＶＤを見たりしました。おみやげかえってからつかれました。おみやげもかいました。グループホームのしよくいんにあげてよろこんでいました。

おみやげでもいろいろありました。キーホルダーや、まんじゅうかったりしました。いいりょこうでした。らいねんもいきたいです。

かえってゆっくりねました。みなさんおつかれでした。またみんなでいきたいです。

上妻　幸江

実習を終えて

園部共同作業所で実習させていただき地域で生活されている精神障害を持たれる利用者さんの作業所における作業風景を一緒に体験させていただく中で知る事が出来ました。

作業内容は電子部品の組み立てやハンドバックのタグ付けなど様々な種類があり他の利用者さん同士で会話をしてコミュニケーションを取り楽しみながら作業や休憩をされている印象を受けました。

作業所に来られることにより他の利用者さんや職員の方との関わりがあるため仲間づくりの場としても役割があり、それにより利用者さんが、孤独感や不安感を抱きにくくなっているのではないかと思いました。また、休憩や作業がきっちり決められた時間で行われることにより規則正しい生活リズム形成ができ作業にも集中して取り組む事が出来ているのではないかと思いました。

利用者の方は様々な事情により一人暮らしされている方や家族を持たれている方などがおられるため、一人一人の生活背景やその人の強み弱みを把握したうえで個人に合った支援方法を考え選択していく必要があるのだと学びました。

南丹看護実習生　鹿田　萌

編集後記

今年の夏は例年になく暑い日が続きました。作業所だよりの発行が少し遅れました。

石田哲さんのイラストがなくなり、行事の写真を掲載させていただきましたが少し小さくて申し訳ありません。

急に冷えてきたりしますが、過ごしやすくなります。頑張っていきましょう。